

演習 I

担当者 閻 和平

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

前半では、演習テーマに関する基本的文献を講読し、住宅政策の分析ツールを習得する。後半では、履修者の研究テーマ・学会の動向を総合して論文を選定し、読解しながら論文作成の実践的トレーニングを行う。

●講義の到達目標

住宅政策の理論を学習し、日本や中国などが直面している具体的な政策課題を考察し、それに関連する住宅施策の有効性を検証し、受講生の住宅政策分野の修士論文作成に必要な素養・研究能力を高める。

●講義計画

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 第1回 | 前期研究計画の確認 |
| 第2回 | 文献輪読法の解説 |
| 第3～15回 | 演習テーマに関する基本的文献の講読とディスカッション |
| 第16回 | 後期研究計画の確認 |
| 第17回 | 研究計画に沿う文献の選別 |
| 第18～30回 | 受講生の関心の深いテーマを掘り下げた文献研究とディスカッション |

●成績評価基準と方法

評価方法

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 講義理解課題小レポート | 70% (10% × 7回) |
| 次回講義に提出 | |
| 2. レポート提出 | 30% |

評価基準

1. 読解する文献内容を正しく理解したか。
2. 論文の学術作法を身につけたか。
3. 住宅政策に関連する基本理解ができたか。

●テキスト又は参考文献

なし。

●受講上の留意点

常に修論の作成を意識して授業に臨むこと。